

<全国「緊急」シンポジウム> (第1次案です…ただ今正式な参加申込み付き開催案内チラシ作成中です！)

今後の医療的ケアを考える 「医療的ケア」の消滅?! 在宅で「いきる」支援はどうなる?

安倍政権になって、これまでの自公路線の医療・福祉施策に戻りつつあります。

「医療的ケア」の違法性阻却から一部法制化1年、福祉に医療を取り込むが、福祉予算の増額はなく、病院医療から在宅医療へという「お金がかからない」市場原理で、長期重症者の追い出し策が少しずつ見えてきています。

「医療的ケア」の「職業化」で超重症児の生活の質が保障されるのか? 安全、安心な地域での連携をどうつくっていくか、一緒に考えましょう。

☆日時:6月16日(日)10:00~16:30 (9:30~開場・受付)

☆場所・コープ・イン・京都

〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル TEL:075-256-6600

*会場地図別紙

- ・基調講演=杉本健郎/NPO 法人 医療的ケアネット (25分)
- ・午前講演①:千葉から東京へ、訪問診療からみえる超重症児者の地域支援の課題 (80分)
前田浩利/子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田
- ・午前講演②:北海道の超重症児者のマッピングとそこから見える今後の課題 (40分)
平元東/北海道旭川療育園園長
- ・午後講演③:地域の訪問看護・福祉からみた超重症児者支援の課題 (40分)
李国本修慈/NPO法人地域生活を考えよーかい
- ・午後講演④:学校での「医療的ケア」の歴史と現状、そして今後 (40分)
下川和洋/NPO法人 地域ケアさぼーと研究所
- ・フロア発言を交えてシンポジウム/コーディネーター=杉本健郎(まとめ含めて90分)

<議論の主なポイント>

1. 特定研修の全国的な「遅延」は全く改善されないまま。新介護福祉士誕生を待っているのか!
2. 看護師報酬が上がるということではない。看護師の研修も課題。
3. 「医療的ケア」児者が地域に増えるとして、家族の高齢化が進むなかで、地域にどんな仕組みが必要か? ケアホームか? 短期入所はどうなる?
4. 在宅支援の格差拡大、階層化にならないか。各地域の大きな格差がさらに広がる。
5. 介護保険制度と自立支援制度、そして医療保険制度の関係性について。
6. 重症児の教育の現状と医療的ケア——造語「医療的ケア」は抹殺される?
学校の医務室化にはならないか。

*参加費 (会員 500 円・非会員 1000 円:当日入会可能) *16:30~ NPO法人医療的ケアネット 2013 年度総会

*主催: NPO法人医療的ケアネット

後援申請予定: 京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、京都新聞社会福祉事業団